

2016年1月1日付組織人員

8,569人

実増数 88人(前年1月1日比)

<http://www.doken-adachi.net>



東京土建一般労働組合
足立支部機関紙

代表者・島原 孝
発行人・森 和夫

東京都足立区梅島1-2-26
TEL 03 (5845) 5011 (代)
FAX 03 (5845) 5014

賀春

インターンシップ制度から

若い仲間が入職へ

昨年度から取り組ん 定しました。
でいるインターンシッ プ(現場体験授業)に 建築産業における将 来の担い手確保の事業 参加していた、都立蔵 前工業高校の野尻悠介 さんが、この春から(有 限)池内工務店に入社が内 務店代表取締役

役・池内政一さん

日本の伝統的技術を 学んで、次の世代に伝 えていってもらいた いです。

そのためには、厳し いでしょうが、現場経 験を積んで、一日も早 く技術を身につけて欲 しいですね。

野尻悠介さん(蔵前工 業高校3年)
早く技術を身につけ て、皆さんの力になれ るよう、頑張ります。 植田祐太さん(池内工 務店勤務)都立蔵前工 業高校卒業生

二人で池内工務店を 盛上げたいですね。

新年のあいさつ

地域に貢献、安全 確保担える組合へ



足立支部
執行委員長

島原 孝

足立支部の組合員・ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。下のもと、営業拡張に乗り出しています。これに対して土建本部も(一社)リフォームパートナー協議会が国土交通省の認定団体に登録をして、集団受注体制をめざします。

昨年は建設国保の補助金確保のために、議員の皆様からの賛同署名、ハガキ要請、集会等への参加行動を展開してきた結果、国保組合補助金額は2997億9千万円を確保することができました。

さらに春・秋の拡大月間を軸に、年間を通じた組織拡大を行い、皆様のおかげをもちまして、新年組織人員を8569人、前年より1%実増で迎える事が出来ました。

足立区行事では、10月10日、11日に「A-フェスタ」(足立区民まつり)に組合として参加しました。

また、11月18日「足立防災訓練」には、分会レスキュー隊が多数参加しています。

リフォーム市場において、ゼネコン・住宅メーカー・通販・建材メーカー・ホームセンター等が大量の資本投

3月に肩の怪我を負い、近くの接骨院に通っていたが、たがよくならず、整形外科に行きMRIを撮ると、腿が3センチ断裂していると言われた。先生、「早期に手術をしたほうが良いですよ」と言うので、私もその場で承諾。ところが、早期の手術を勧めたのに「もう少し様子をみましょう」と言われ、先生の対応に不信感をおぼえ、別の病院に転医しました。▼転医先の病院にはこの事を告げられず、最初と同じ検査を受け、やはり同じ診断でした。▼診察した先生は「私は専門門ではないので、専門の先生を紹介します。3人程いますが、どの先生が良いですか」と聞かれ、判断つくはずもなく、「紹介して頂けるなら、一番腕の良い先生を」と図々しくお願いしました。先生が信頼する方を紹介してもらえたので、安心して手術を受けることが出来た。▼今まで手術といえは盲腸くらいで、健康だけが自慢の私でしたが、思いも寄らぬケガや病気になった時には、自分の体の事です。医師に対して無用な遠慮などせず、解るまでしっかり聞き、自分の希望を伝える大切さを知りました。

K・H

右から野尻悠介さん、入谷舎人分会の池内政一さん、植田祐太さんです